教育現場に生かし、子どもたちの生きる力を育もう！

―多久市教育研究委嘱者発表会―

多久市教育委員会から2年間を通し、個人研究の委嘱を受けた先生7人の発表会が2月13日、市役所で行われ、市内の教職員や教育委員など約40人が視聴しました。今回、初の公開発表会で、その研究成果を市内の教職員が共有し、実践に生かし、子どもたちの「生きる力」を育むことがねらいです。

研究主題は、①多久市の自然や歴史など地域素材の教材化②児童生徒の学習や生活などの教育課題③教科等の指導や教材・教具の開発など教育課程に関する3つの研究テーマを掲げ、1年目に「研究経過」、2年目に「研究成果」発表が行われています。

まず、研究経過中の遠藤浩幸教諭（東部小）、坂村隆教諭（西部小）、山嵜浩子教諭（西渓中）、古舘大輔教諭（北部小）の4人が、テーマ設定の理由から期待できる成果までを発表。新年度からのさらなる研究につなげます。続く研究成果発表では、小川美都紀教諭（中部小）、松山静花栄養教諭（中央中）、峯慎一郎教諭（東部小）の3人が2年間のまとめを発表しました。

参加者からは「子どもの興味・関心を大切にし、知らず知らずのうちに基礎的な力を身に付けていくような授業を考えることの大切さが分かった」や「多久市の子どもたちだけではなく、保護者を巻き込むような試みで、大変ありがたい」、「納所ビワを教材化し、ビワの摘果や袋かけなどの体験的な活動を通して、地域のよさや働く人の思いに触れることは、地域に愛着をもつ子どもが育つと思う」、「多久市の将来を子どもたちだけではなく、私たち大人も深く考えることができる研究だと思った」などの感想が出され、この研究がもっと広く公開され、教育活動や地域発展に役立つことが望まれます。

※この研究成果は『多久市教育研究集録（第16集）』にまとめ、多久市内各学校・多久市教育委員会に保管しています。ぜひ、ご覧ください。

小川教諭のまとめ

魅力ある教材の開発や指導、支援の在り方を今回の研究を通して深めることができました。今後も、児童が「音楽大好き！」「音楽が楽しい！」と言える授業づくりをしていきたいと思います。

松山栄養教諭のまとめ

学校で食育を進めるために、給食献立を活かした教材の開発や給食指導の充実、家庭・地域連携が課題と分かり大変勉強になりました。ご指導いただいた先生方、ありがとうございました。

峯教諭のまとめ

先生方のご意見から、地域教材の開発や地域の問題を考えさせることの重要性をあらためて感じました。今後は、見出した解決策を具体的な活動につなげられるような指導が必要だと感じました。

研究経過発表者(後列右から)▶
- 『生徒の読む意欲を高める読書指導』を発表の山嵜教諭
- 『「楽しい」「わかった」といえる算数科学習』を発表の坂村教諭
- 『気付きの質を高める生活科の学習』を発表の古舘教諭
- 『活用する力を高める算数科学習指導方法の研究』を発表の遠藤教諭
- 『子どもが楽しみながら基礎的な力を付けていく音楽活動の在り方～遊びの要素を取り入れた音楽活動を通して～』を発表の小川教諭
- 『食を大切にする子どもの育成～小・中9年間の食に関する指導の実践的研究を通して～』を発表の松山栄養教諭
- 『地域の未来を創造する子どもの育成をめざして～小学校第4学年社会科単元「ビワづくり」を通して～』を発表の峯教諭

◀研究成果発表者(前列右から)

定例教育委員会のお知らせ

3月5日に定例の教育委員会を開き、議題の「北多久公民館長・社会教育指導員の任命」や「就学援助の認定について」協議し承認しました。また教育に関する事務の管理および執行の状況の点検と評価について協議しました。

次回の定例教育委員会は、4月9日㈭13時30分から第3委員会室（市役所2階）で開催します。傍聴は自由です。

■問い合わせ
教育委員会　教育統括室（市役所4階）☎75－3450